

【漢代の社会・文化】

〈儒学〉

董仲舒(前漢)…武帝の時代に儒教の官学化に活躍。

五経博士を官職として設置させた。

鄭玄(後漢) …馬融に師事し、儒学の経書の解釈を求める**訓詁学**を大成。

〈史学〉

『**史記**』…**司馬遷**の作。**紀伝体**の記述様式で、後世の中国史の模範となる。
黄帝～前漢の武帝までについて記されている。

『**漢書**』…**班固**の作。前漢の歴史を紀伝体で記述。

〈学問〉

『**説文解字**』…許慎の作。一文字ほどの漢字の語源を解説。

『**戦国策**』…劉向の作。戦国時代の語源になった。

〈宗教〉

仏教…前漢時代に西域より伝来。

太平道…張角が指導し、黄巾の乱を引き起こした。

五斗米道…張魯・張陵が指導。道教成立の一因となった。

〈その他〉

製紙法…後漢の宦官である**蔡倫**が改良した。

張衡…地震感知器の開発。